

ユーモアスピーチ船橋

2020 (R2) 年 10 月 8 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

170 回船橋ユーモアスピーチ

2020 年 10 月 8 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「期待どおり、期待はずれ」、
「階段」

ロングスピーチ

佐藤 重剛さん 「初歩の手品等」

辻内 京子さん 「八十の坂 なんと遠くにきた
もんだ」

9 月 17 日の参加者：佐藤、工藤、植野、中久木、田谷、
松永、常廣、佐々木、大塚、飯野、はらだま、入江、稲
葉、早瀬、町田、長嶋 16 名

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

見学科 500 円

開催日と場所 (原則)

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場 KATANAオフィス船橋 5 階

前回のロングスピーチ

「昔話について」

常廣 貫次郎さま

- ・民話 (昔話、世間話、伝説)
庶民が長い時間をかけて作り上げた話 → 面白いもの = 動物の喜怒哀楽
- ・神話 (古事記、日本書紀)
国のなりたちの話 → 面白くない
- ・法話 (宗教的説話) → 面白くない
お寺の坊さんの話 → 子供が喜ばない

民話の基本 = 心意伝承 (心を込めて話をする)

反対は活字

= 口伝 文芸 柳田国男 説

人間が語る物 夕鶴 = 木下順二

例話 1 : 猿とキツネとウサギ

なぜお月様にウサギがいるの？

例話 2 : 千両箱をのんだおんどり

年老いた「おんどり」は何かの役に立つの？



前回のロングスピーチ

ほんの少しゾクッとするハナシ「七人の侍」を語る

田谷 正明さま

20世紀を代表する映画の一つで現在活躍する映画製作者に多大な影響を与えた。主題は「百姓が侍を雇い、襲ってくる山賊・野武士と戦い勝利する話」。

3人の脚本家、橋本忍（代表的作品は羅生門、私は貝になりたい、白い巨塔、八甲田山、砂の器）・小国英雄・黒澤明、が2ヶ月間、旅館に缶詰になって504枚の原稿用紙にシナリオを書き上げた。

「いかなることがあっても悪いシナリオから良い映画ができることは決してない」の信念を持って・・・登場人物の「彫り」「設定」が完璧に仕上がった。

撮影が1年以上かかり、黒澤は複数のカメラで同時に撮るマルチカム方式を初めてこの作品から採用した。

上映時間は3時間27分、当時としては異例の長さであり驚きを持って迎えられた。公開は昭和29年4月26日、日本の総人口8,800万人の時代に700万人もの観客が劇場に押し寄せ、史上空前の大ヒットになった。

3部に分かれているが、最初の1時間5分、侍を集める場面が秀逸、何十回観ても面白い。

「七人の侍を演じる俳優と死亡した年」

○加東大介 昭和50年死去

○木村功 // 56

○志村喬 // 57

×宮口精二 // 60

×三船敏郎 平成 9年死去

×稲葉義男 // 10

×千秋実 // 11

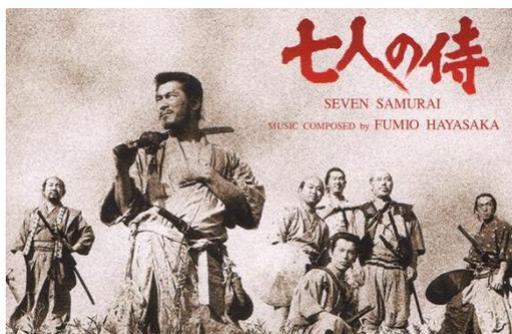


映画の中で生き残った侍は○印の三名（加東・木村・志村）だが、実際の人生においてはこの「映画の中で生き残った3名の俳優」から順番に死んで行った。

そして映画で最初（2時間19分40秒）に死んだ「侍・千秋実」が7名の俳優の中で最後まで生きた。

映画監督・黒澤明が44歳で発表したこの「七人の侍」とその2年前に撮った「生きる」は世界に誇る傑作です。

TSUTAYAでDVDを借りてもう一度是非観て下さい。



3 分間スピーチダイジェスト テーマ「隕石」、「ブレーキ」**工藤 文夫：「ブレーキ」**

今一番かけたいブレーキは「新型コロナ」の流行ですよね。これだけ長く生きて来ているのに経験値が役に立たない、老人に厳しい細菌には困ったものです。逆にブレーキをかけて欲しくないのは巨人軍のマジック。(比較がオーバー?) 元に戻ってブレーキをかけたい「私の体重。1.5kg 増加」飲み会減少による、酒量のアップ?(植野さんを見習いたい。酒と女は2合まで?) 二日酔いによる、買い物・皿洗い・風呂掃除の放棄で女房激情!! ボランティア活動の激減で、ストレスアップ。

但し、おうち時間が増え、競馬のデータ整理が進み、的中率上昇。死ぬまでにチャラにしたい? でも、山中さんのオススメの120歳まで生きても不可能か??

中久木 一乗：「三つの霊」

今年、私は 三つの「コ」の字に悩まされている。一つ目のコは高齢化で、内容は複雑で、個人的に戦っている。二つ目のコは、高温な気候で、内容は単純でかつ皆に平等、しかし 個人的に対処するしかない。三つ目のコはコロナ禍。内容は複雑・不透明で、全世界で対応に苦慮している。

社会では、この半年以上の経験を通じて、ウイルスと共に安全な社会をつくる「With Corona: 新しい生活様式」の研究が盛んになり、否応なく、世の中は大きく変わり、私はついて行けなくなっている。

以上 頼みもしないのに やって来た「三つのコ」の字の霊、即ち「3つの霊」に悩んでいる報告でした。

町田雅和：「隕石」

習志野市と船橋市に落下した隕石が見つかって話題になったが、日本は隕石の保有数世界第2位、大部分は南極で発見したものだそうだ。宇宙からの贈り物? 隕石は買うことができる、国立科学博物館では1粒1000円程度、ネットでは数千円から数百万円、でも素人には本物かどうか分からないから、ほとんどが偽物という情報もある。一番確かなのは、京成津田沼駅近くの和菓子屋さんが売り出した「隕石まんじゅう」、こちらは2個で300円、絶対お勧めです!

飯野 望：「ブレーキ」

ブレーキと言え、車や電車のブレーキを思い浮かべますが、人間社会では色々あるようで、

噂話のブレーキには口止め料で聞くのでしょうか?

田谷さんの秘密の〇〇は、常広さんに、常広さんの▽▽は長島さんに、長島さんの秘密のママは入江さんに、入江さんの秘密の隠し子は、工藤さんに・・・時間です。

植野 晏生：「マスクの効用」目のきれいな女(ひと)は得だ。マスクをすると、顔全体が綺麗に見えるから。だから決して外さないでほしい。万一口がゆがんだりしたら、京都でいう「いけず」にみえるから。美人に見える人がマスクを外すのは「犯罪だ」と私は思う。



松永 成三郎：「ヒトの心身に備わるブレーキ」

我々の心と体にはいろいろなブレーキが存在しています。食欲とか性欲とか本能にかかわる中枢は間脳（古い脳）という脳の奥深くにあります。それをコントロールするのは脳皮質（新しい脳）ですが、これは我々人類だけに発達した機能です。

我々がふだん目にしないが大切な「免疫現象」という機能があります。ヒトの皮膚のすぐ下、あるいは口から肛門までの消化管粘膜には無数の免疫細胞が存在しています。マクロファージ（樹状細胞）→NK細胞→リンパ球（T細胞、B細胞）らがあります。T細胞には Killer, Helper Suppressor（抑制系）などが知られています。免疫細胞群は外敵が侵入するとサイトカインという一種の低分子のたんぱく質を放出します。このサイトカインがウイルスや細菌、中毒性薬物など、ヒトの体に悪影響を与えるものに作用して無害化します。ところがこの大事なサイトカインがある時にはたくさん出て働き過ぎて、ヒトの正常な細胞までやっつけてしまうことが間々あります。これをサイトカイン・ストームと言います。これにブレーキを掛けるものが suppressorT 細胞です。このブレーキがうまく作動しないと膠原病などの自己免疫疾患や、最近ではインフルエンザや特に新型コロナウイルスの合併症である血栓症を起こします。

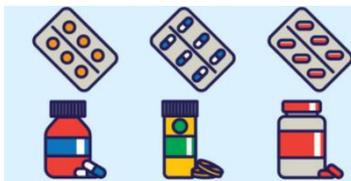
最近の私は、自分自身の様々な高齢化現象に少しでも歯止めをかけようと一生懸命ブレーキをかけています。このユーモア・スピーチの会にもせっせと出席して心身に刺激を受けていたいのです。人生死ぬまで挑戦です、という事で話の締めとさせていただきます。

入江 清之：「新型コロナ禍」

私は後期高齢者になった頃から年寄りを甘やかすなと云い出し、彼らには「冷や水」を飲ませろ、電車の優先席には若者を座らせ、彼らは立たせろなどと。しかし、これらは私の日常生活を厳しく律するためで、年寄りいじめや、いやがらせではなく、また私のひがみでもなく、唯、唯認知症にならないように自分自身を鍛えることが大事だとの思いからです。そのベースとなるのは幾つになっても学びを継続することで、その学びは人、本、旅から得られます。しかし、今回のコロナ禍はそうした高齢者の活動をほぼ奪ってしまい、私のボランティア活動も未だ休眠状態です。我々はいつになったら、あの人間臭い三蜜での人との交わりを復活できるのか。私に GO TO ADVICE。

早瀬 君子：「ブレーキ」

本日のテーマを考えている間に、私にもブレーキをかけなくてはいけない懸案事項に思い当たりました。実は最近、20年余りに亘って摂り続けている10種類余りのサプリメントを少し減らさなくてはと思い始めたのです。偏食がちの小食が常に不安で、“〇〇不足には〇〇が効く！” などという宣伝文句に惹かれて、“これを摂れば自分の小食と偏食不安を補える！” とばかりについつい種類を増やしてしまいました。サプリメントは即効性の薬品でなく栄養補助食品ですから、少なくとも1年以上は継続しなくてはと飲み続けていますが、必須栄養分を補っているという確信には今一つというところ。10種類に増えてしまった中身の効能を吟味して、サプリメント摂取にブレーキを掛ける時期にきているようです。



田谷 正明：「隕石」

父親は星が大好きで来世があれば天文学者になりたいと言って、80を過ぎてからも天体望遠鏡を覗いていた。私は高所恐怖症のため？高いものが嫌いで星空を見ると目が回ってしまう。孫と二人で北は函館から南は沖縄・与那国島まで旅をしたが、星空が一番きれいだったのは能登半島・輪島で天の川、流れ星が見事でした。「習志野隕石」の話題で住んでいるマンションでも大騒ぎでした。恐竜の絶滅を招いた巨大な隕石がドカンドカンと落ちてくるのではと心配で心配で熟睡出来ない日々を過ごしています。

長嶋 秀治：「隕石」

7月2日午前2時32分火球が目撃され東京湾上空で見えなくなったとの情報が流れた。その後、習志野のマンションで岩石の破片が見つかり、船橋でも賃貸アパートの屋根瓦1枚30cm四方が割れていたのも隕石によるものと分かった。こんな話があります。昔々夜中にゴーという音と共に何か落下したような大きな地響きがした。村人は不安な一夜を明かし、朝起きて近くに大きな穴が開いているのを発見した。何が落ちてきたのか？誰もわからない。そうだ、あの古老に聞いてみようとして現場に案内した。古老は平然と「これは穴が落ちてきたんじゃない」とのたまうた。皆はなるほどと納得。瓦が割れるような隕石が人間に当たらなくてよかった。できれば人のいない砂漠のようなところに落ちてほしいものだ。



習志野隕石



隕石まんじゅう

予告：11月 「船橋ユーモアスピーチの会」
11月12日（木）14時～ KATANA オフィス船橋
ロングスピーチ
植野 晏生さん 「蝉しぐれの舞台と庄内藩」
スピーチテーマ 「巣籠」、「居酒屋」